

大阪医科大学 2014年度前期入学試験 解答速報 英語

2014年 2月10日 実施

問題 I

- (1) 常識はあまりに当たり前のものなので、我々はそれが失われた状況になってようやく、その存在に気づくことが多いのだが、それは日常生活を営む上で絶対に不可欠なものである。
- (2) 常識とは、全くもって実的なものである。つまり、それは問いへの解答を提供することに関わるものであり、どのようにその解答を得たかに頭を悩ますことにはあまり関わりがない。
- (3) ロボットは、あらかじめ対処するよう教え込まれていた状況とわずかに異なる状況に出くわすや否や、どう振る舞うべきかさっぱりわからなくなるだろう。
- (4) そしてロボットのプログラミングが難しいのとまったく同じ理由から、常識の欠けた人に彼らの行いのいったい何が間違いなのかを説明することは驚くほど難しいのである。

問題 II

- (1) そうではなく、人間の赤ん坊はさまざまな環境に柔軟に適応するのに必要な能力を持って生まれてくる。そしてそのおかげで、人間は世界中どこでも生き延びてきたのである。
- (2) しかし、幼児は時に、自分がどのように事をしてかしたのかを理解できない。そのため幼児が声をかけて物に動いてもらおうとしているところを目にすることがある。

[別解]

しかし、幼児は時に、自分のせいで事が起こった顛末を理解できないので、彼らが物に動くように説得しているのを目にすることがある。

- (3) はっきりとした発音で語と語の間を空けて話す、といった母親ことばの特性が、赤ん坊が言葉を知るのを助けるのにとっても適してもいる、というのはおそらく偶然ではないだろう。

[別解]

明確な発音、語と語の合間をとること、といった母親特有の話し方は、赤ん坊が言葉を知るのにうってつけである、というのはおそらく偶然ではないだろう。

問題 III

- (1) It may seem that most of our everyday choices result from our deliberate decision.

[別解]

Most of the choices we make in everyday life may seem to be the result [product] of the decisions we make after careful [deep] consideration.

- (2) Habits are [mean] a series of behaviors which we choose consciously at first [at a particular stage] but (which) we unconsciously [automatically] continue later.

- (3) What we eat, how often we exercise, whether we save money or spend it and so on have (a) strong influence on our health, financial stability and happiness.

講評：形式・分量は例年通り。大問1、2は、内容、訳出上のポイント、単語レベルに関しても昨年よりも大幅に易化した。ただし高得点につなげるには、内容についての踏み込んだ理解が必要となる。大問3は、訳語選択の余地があるものの、一義的に構造が決まるものが多く、定型表現を身につけた受験生なら高得点も望めるだろう。合格ラインは65%程度。

医歯学部進学予備校 **メビオ**

〒540-0033 大阪市中央区石町 2-3-12 ヴェルデ 7天満橋

TEL 06-6946-0109 FAX 06-6941-9416 URL <http://www.mebio.co.jp/>

MeBio
Scholastics